

## マイ・バギヤナ・セー

### ミーラーバーイーによるバジヤン

ミーラーバーイーのバジヤンと詩は、愛するクリシュナ神への献身で満ちています。ひとたびクリシュナ神への愛が彼女の中で呼び起こされると、ミーラーバーイーは人生のすべての瞬間を自らの神への崇拝にささげました。王女としての役割を捨て、彼女がハリと呼ぶクリシュナ神への愛をいつでも自由に表現できるよう放浪の神秘家となりました。

この極めて優美なバジヤン、「マイ・バギヤナ・セー」の中で、ミーラーバーイーは愛するハリを崇拝するたくさんの方を楽しんでいます。夜明けに彼女は彼を甘美な賛歌で起こし、生花で飾り、食べ物をささげ、暑い時には扇であおぎます。

ミーラーバーイーは、彼女の献身の恍惚感を通して、私たちに神と一つになることを教えています。彼女は神にとっても没頭していたので、ハリをまさに彼女の存在全体に体験しています。自分自身の声から、最も弱い存在でさえ維持し守る呼吸に至るまで、彼女はすべてのものの中に神を見えています。詩聖である彼女は、献身、パラバクティを通して、私たちの内側とすべてのものの中に存在する神のダルシヤンを体験することができることを、私たちに示しているのです。

## マイ・バギヤナ・セー

### 詩聖ミーラーバーイーによるバジヤン

繰り返し

私は庭から花を摘み神の足元にささげます。  
今より、私はハリ神をたたえる歌だけを歌います。

### 第1節

毎朝夜明けに、私は歌って神を起こします。

七つの音符の花輪を紡ぎ、  
彼の首に掛け、彼を飾ります。

献身の歌を彼に歌いながら、私は神の美しい姿を見ます。

### 第2節

この世界の神だけが私の友人で愛する者です。

彼は私の声と呼吸の中に、そして私の存在全体に住んでいます。

彼は困窮する者や苦しむ者の呼吸の中に住んでいます。

私は食べ物を彼にささげ、扇で彼をあおぎ涼しくします。

### 第3節

ハリ神の足は四つすべての巡礼地です。私は彼の足に頭を垂れます。

幸せはすべてハリの名の下にあります。私は神と愛の絆を結びます。

信仰心、献身、そして愛と共に、私は彼のダルシヤンを受けます。

翻訳 © SYDA Foundation®. 著作権所有。



© 2021 SYDA Foundation®. 著作権所有。